

# 木の家を建てたい人が 増えています。

地球温暖化や異常気象、エネルギー問題と直面し、環境保護、自然との共生、エコロジーなど環境への考え方は変わりました。豊かさや便利さを追求するあまり、ゆとりの時間や家族のあり方社会のつながりなど、人が本来自然の中で暮らしていく大切な感覚を忘れかけていましたが、自然を感じ、健康な暮らしを再度見直していこうと新たな歩みもはじまっています。住まいへの考えは、化学物質を使った人工的な建材への拒否感や健康問題に対し、建築技術・加工技術の進歩による木造住宅への信頼の高まり、自分流や他との差別化を求める考え方の広がりも加わり、自然素材を使った、こだわりの木の家を建てようと思う人たちが増えています。



## 他との差別化

■個性表現  
■自分流の考え  
在りきりの建売住宅や統一デザインされたマンションでは、みんなと同じでつまらない。ライフスタイルも将来設計もみんな違うんだから、それぞれの家族や個性が表現できるオリジナリティあふれる家づくりを考える人が増えています。



## 健康思考、環境への配慮

■健康な高齢化社会  
■住みやすくてきれいな地球環境  
飽食化や外食化による肥満の増大。高齢化や少子化問題などから、健康への意識が高まっています。また、地球温暖化やエネルギー資源減少への考えが見直され、エコロジーやリサイクルなど、環境に配慮した暮らしが求められています。



## 木の家への信頼

■建築工法の確立  
■耐震強度への対応  
阪神淡路大震災の発生により、建築物やまちづくりに対する考え方は大きく変わりました。さらに、将来発生する大地震に対し、耐震強度が見直され、建築技術と工法は飛躍的に向上しました。木の家でも強く、信頼意識も高まっています。



## 時間やモノに対する 考え方の変化

子どもの不登校や引きこもり、職場での人間関係やストレス社会など、複雑な問題がたい積しています。週休2日制の確立、男性の育児休暇取得など、余暇や休暇をこれまで以上に家族とのつながりを大切にする考えが広がっています。

これからは、上質で簡単・安心でコストも納得の

# 木

土佐育ちの

# の

自然素材で

# 家

づくりを提案。

